

シリーズ

設定目的

焼岳(2,455^{メートル})は、大正4年(1915年)の大爆発による泥流で梓川をせき止め大正池を出現させた、現在も活動を続けている北アルプス唯一の活火山です。

梓川は、V字谷溪谷と水力発電用ダム湖(奈川渡ダム)を経て松本市安曇島々に至っており、梓川沿いのミズナラ、カエデ、トチノキ等から構成される貴重な天然広葉樹林等を一体的に保護しています。

地況・林況

本保護林は、霞沢岳(2,646^{メートル})周辺及び焼岳周辺、梓川の大正池から沢渡までの間の斜面に位置し、高山帯から山地帯まで多様な植生が見られます。

霞沢岳周辺は高山帯(ハイマツ林、高山植物群落)と亜高山帯上部のダケカンバ林、高莖草原が広がり、標高が下がるにつれて亜高山帯針葉樹林(オオシラビソ、シラビソ、コメツガ林)が広がります。

焼岳の東斜面には断崖地植物群落やダケカンバ群落が広がり、北部と南部は亜高山帯針葉樹林を形成しています。

梓川沿いにはブナ群落やウラジロモミ群落のほか、カラマツやトウヒの植林地を含めた針広混交林が広がります。

北アルプス唯一の 活火山に広がる森林

あずさがわ かすみざわ やけどだけ
梓川・霞沢・焼岳

生物群集保護林

所在地
長野県松本市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。